

# 平成28年12月の思いやり通信



清水建設が電力小売り 再生エネを100%に

CO2削減、パリ協定にらむ ビル受注の武器に

## 排出抑制、企業に圧力

- ・清水建設は再生可能エネルギーによる電力小売り事業に参入。
- ・2018年4月にも企業を対象に、ごみ焼却や太陽光発電などで得た二酸化炭素排出が少ない電気の供給を始め、2020年代前半に再生エネ100%にする計画。
- ・再生エネ100%の電力だけを企業向けに売るのは国内初。  
(2016年11月11日 日本経済新聞記事から抜粋)



マンションも「ゼロエネ」 積水ハウス 海外展開にらむ

## CO2の排出量抑制

- ・積水ハウスは温暖化ガスの排出量の収支を実質ゼロにする環境配慮型マンションを開発。
- ・太陽光パネルと家庭用燃料電池で発電し、自社開発した複層ガラスの採用などで断熱性を強化し、日常生活による二酸化炭素を1棟丸ごと抑えます。電気代も大幅に下がります。
- ・「ゼロエネルギーマンション」は大手では初めて。

### ※ゼロエネルギー住宅（ZEH）：

- ・家庭内で消費される電気やガスなどのエネルギーから、太陽電池などで発電した分を差し引き、実質的なエネルギー消費量をゼロにした住宅。
- ・太陽光発電のほか、建材などで住宅の気密性や断熱性を高め、住宅を省エネ化。

(2016年11月29日 日本経済新聞記事から抜粋)